令和８年５月下旬から 気象の警報などが 大きく変わります

問い合わせ　福岡管区気象台☎092・725・3604

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
〈警戒レベル4までに危険な場所から 必ず避難！〉				
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

Point! 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

Point! 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）

Point! 「警戒レベル４相当」の情報は「危険警報」として発表されます

国土交通省水管理・国土保全局と気象庁は、令和８年５月下旬から新たな防災気象情報の運用を開始します。

新たな防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の警報などを、避難行動に対応した５段階の警戒レベルと整合させ、災害発生の危険度に応じたレベルの数字を名称に含めて発表します。レベル５に相当する河川氾濫の特別警報や警戒レベル４に相当する危険警報も新たに開始するなど、現行の大雨警報・注意報などが大きく変わります。

レベル３警報やレベル４危険警報が発表されたら、自治体からの避難指示などに十分留意するとともに、大雨で危険度が高まった地域が地図で表示される「キキクル」や河川の水位情報を参照して、危険な場所にいる人は早めの避難を心掛けてください。

気象庁ホームページでは、新たな防災気象情報に関するさまざまな資料を掲載しています。

これらの資料を参考に、情報が発表された際にどのような行動をとるか、家庭や企業・組織内であらかじめ決めておきましょう。

避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

災害発生

レベル５特別警報
・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
・**今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動する**

2時間～0時間前

レベル４危険警報
・**危険な場所から全員避難する**
※台風などで暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

数時間～3時間前

レベル３警報
・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

半日～数時間前

レベル２注意報
・ハザードマップなどで災害リスクを再確認する
・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数日～1日前

レベル1早期注意情報
・災害への心構えを一段高める
・職員の連絡体制を確認する

災害の情報、どう受け取る？

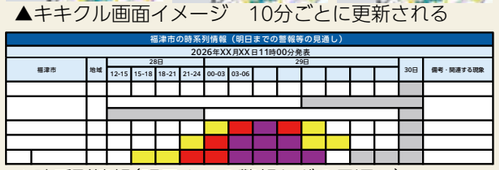
警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。福津市の防災情報はスマートフォンサイト「福津防災（防災すまっぽん）」で提供しています。

このあとどうなる？をチェックしよう

警報などの情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報などの見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。

キキクル 検索

▲キキクル画面イメージ　10分ごとに更新される



▲時系列情報（明日までの警報などの見通し）